

GARMIN測量データ(GPXファイル)の読込み

GARMIN(ガーミン)で測量したデータ(GPXファイル)を山守くんLiteへ読込み、表示させる方法となります。読込んだデータは、背景レイヤとなるため、必ずGARMIN本体からデータをPCやHDDへコピーしてから読込み作業を行きましょう。

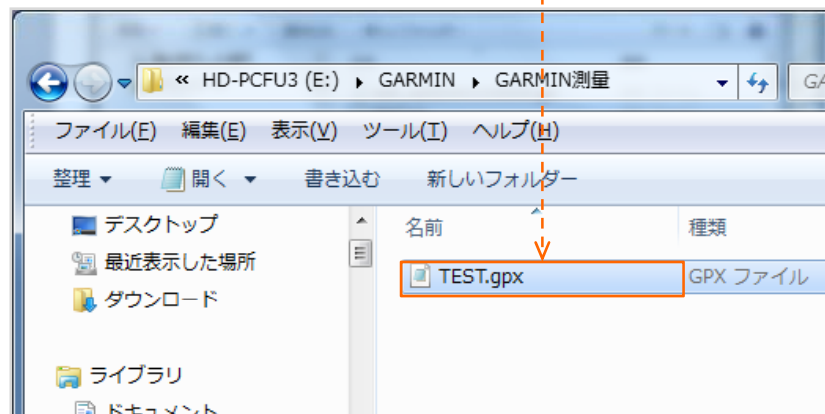
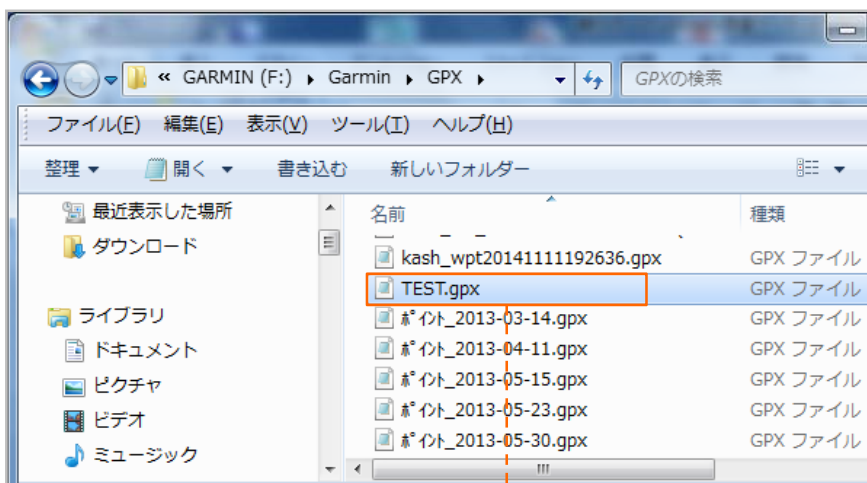
すでに林小班が格納されているファイルへGARMIN測量データを読込む場合の手順となります。新しいファイルへ読込む場合は、最初に地理院地図など背景図を表示してから、読込み作業を行きましょう。

★1 ガーミン測量データ(GPX)の読込み

1 ガーミン本体を専用ケーブルでPCへ接続します。

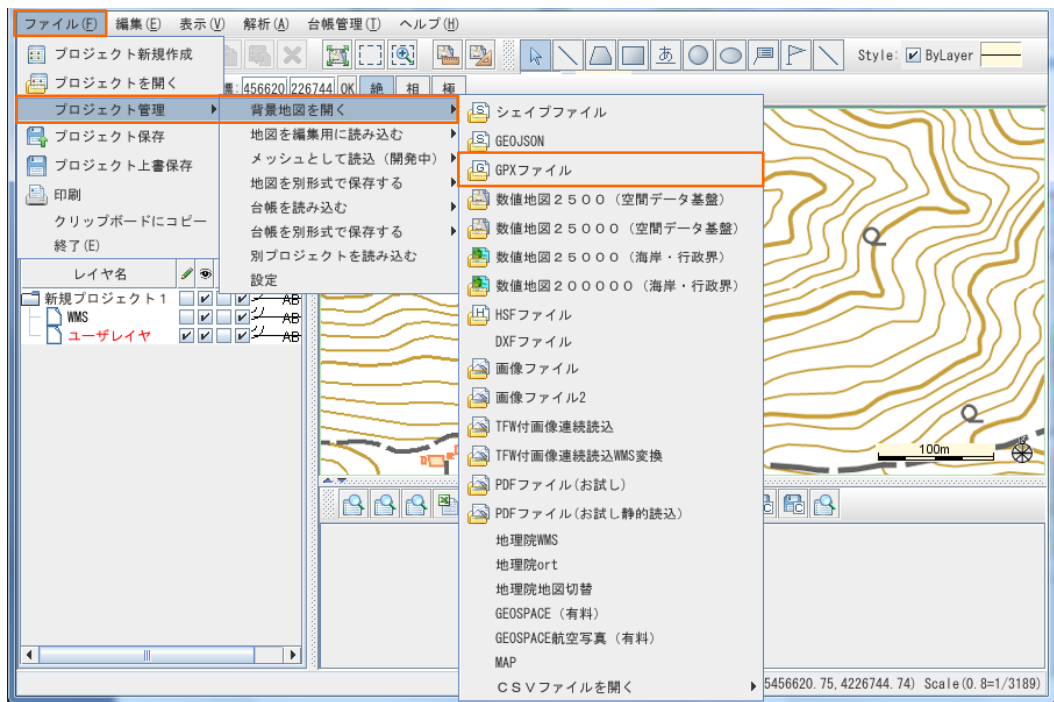
GARMIN/Garmin/GPXフォルダ内に測量データが格納されています。必要なデータをPCまたは山守くんLiteが起動するハードディスクへコピーします。

<例> GARMIN/Garmin/GPXフォルダ内の[TEST.gpx]を山守くんLiteHDD版が起動するハードディスクのGARMIN/GARMIN測量フォルダ内へコピーします。

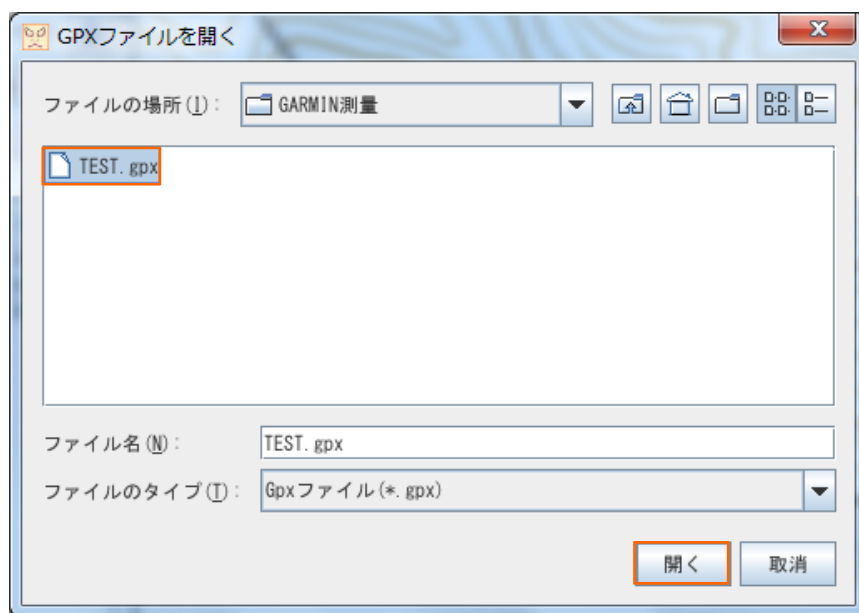


2 山守くんLite を起動し、ファイルを開きます。

メニューバーの[ファイル]－[プロジェクト管理]－[背景地図を開く]－[GPXファイル]をクリックします。

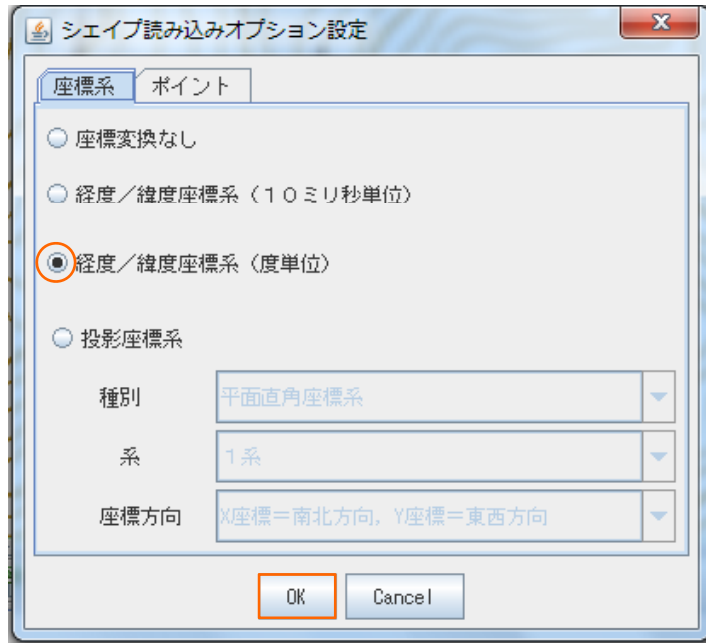


3 1でコピーした、読込むGARMIN測量データ(GPXファイル)を選択し、[開く]をクリックします。

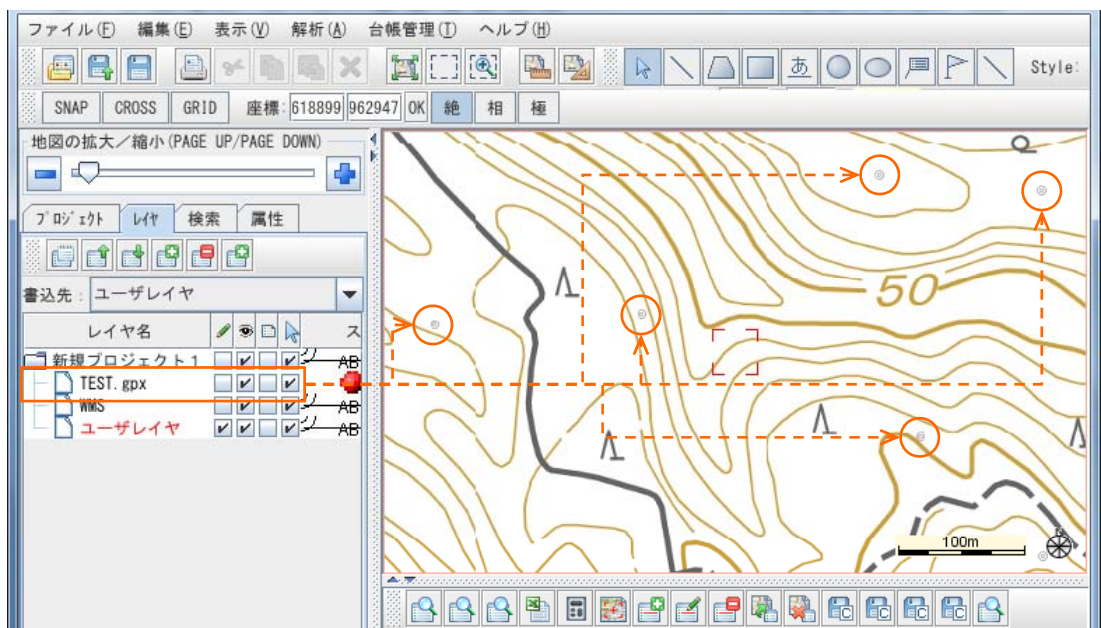


4 読込むGARMIN測量データ(GPXファイル)の座標系の設定を行います。

[シェイプ読み込みオプション設定]ウィンドウが開きますので、座標系を選択し [OK]をクリックします。
GPXファイルを読込む場合は、緯度経度座標系に設定します。




5 地図表示画面に読込んだデータが表示され、[レイヤ]タブに読込んだGARMIN測量データ(GPXファイル)と同じレイヤ名称が追加されます。

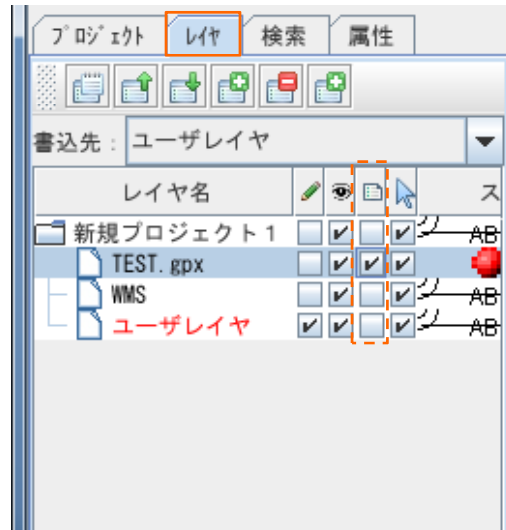


★2 ガーミン測量データ(GPX)のラベル表示

GARMIN測量データ(GPXファイル)の情報を地図領域上に表示することができます。

1 レイヤのラベル表示の設定を行います。

地図操作領域のレイヤタブから設定を行うレイヤを選択し、[ラベル表示フラグ]  にチェックを入れます。



2 ラベル表示する項目を選択します。

[レイヤ表示ラベル設定]ウィンドウが開きます。[ラベルを表示する]にチェックを入れ、ラベル表示する項目を選択します。表示位置や、ラベルと図形の距離の設定を行えます。設定が完了したら、[OK]をクリックします。

ラベルを表示する場合は必ずチェックを入れて下さい。消去する場合はチェックを外して下さい。

マウスクリックで複数選択する事が可能です。マウスクリックで選択解除

ラベルを表示する位置を設定します

ラベルとの距離を設定します

<例>
ポイントの南側 20m
の位置にラベルを表示

レイヤラベル表示設定

ラベルを表示する tooltipを表示する

フィールド名称	区切り文字(フィールドの頭に...)
[HccMap]FID	
name	

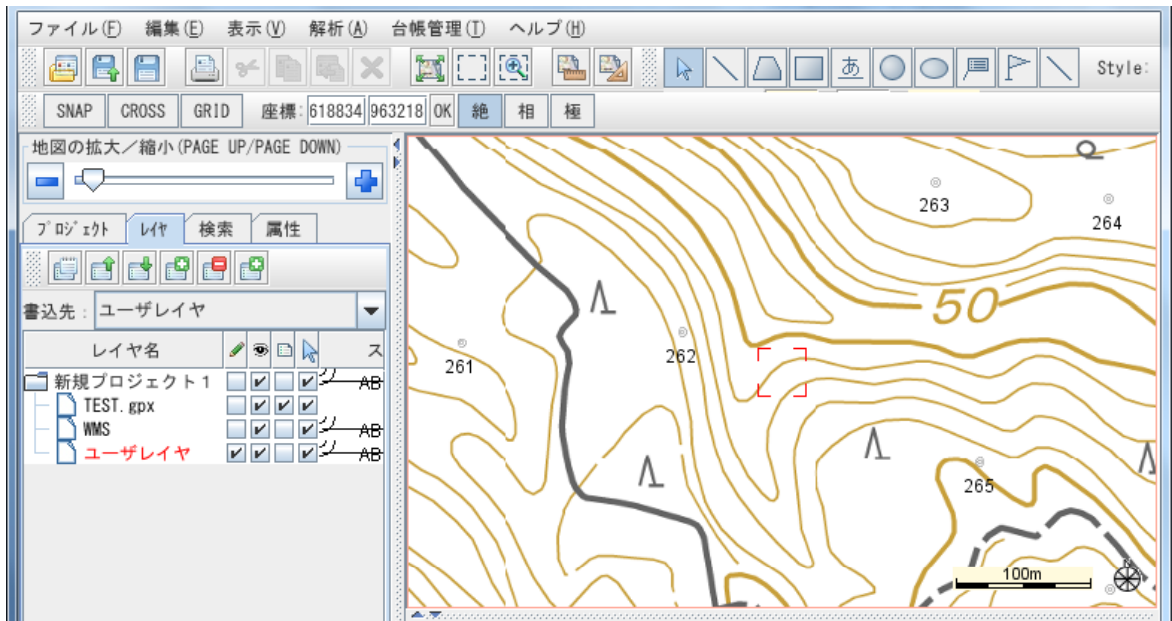
ラベル表示位置

北西 北 北東
 西 中央 東
 南西 南 南東
 ポリラインに沿わせる
 ポリゴンの中


ラベルとポリラインの距離

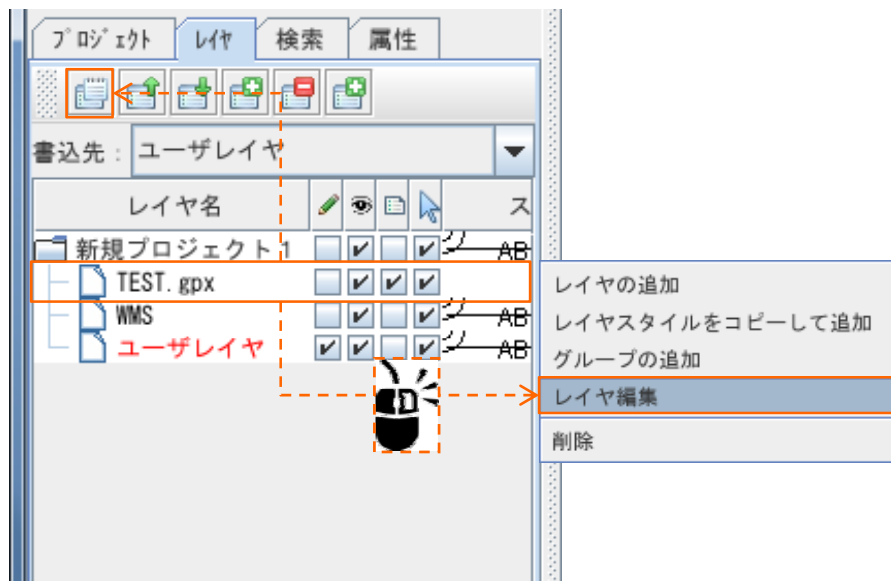
OK Cancel

3 GARMIN測量データ(GPXファイル) の位置やラベル表示の確認をします。



4 レイヤの詳細設定を行います。

詳細設定を行うレイヤを選択し、[詳細を表示する]  をクリック または マウス右クリックで [レイヤ編集] を選択します。



5 【シンボル】【フォント】などが変更できます。

変更が完了したら[適用する]をクリックし、[OK]をクリックします。

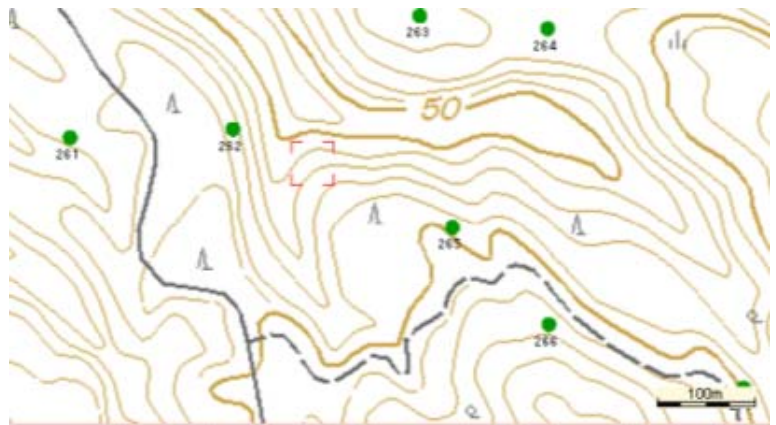
ラベル表示のフォント変更ができます

ポイントのアイコン変更ができます

表示色を変更できます

<例> シンボル:塗りつぶし円/表示色:緑/シンボルの大きさ:1/
地図の縮尺にあわせて大きさを変える:✓

フォント:MSゴシック/サイズ:20/文字色:黒
スケーリング:1



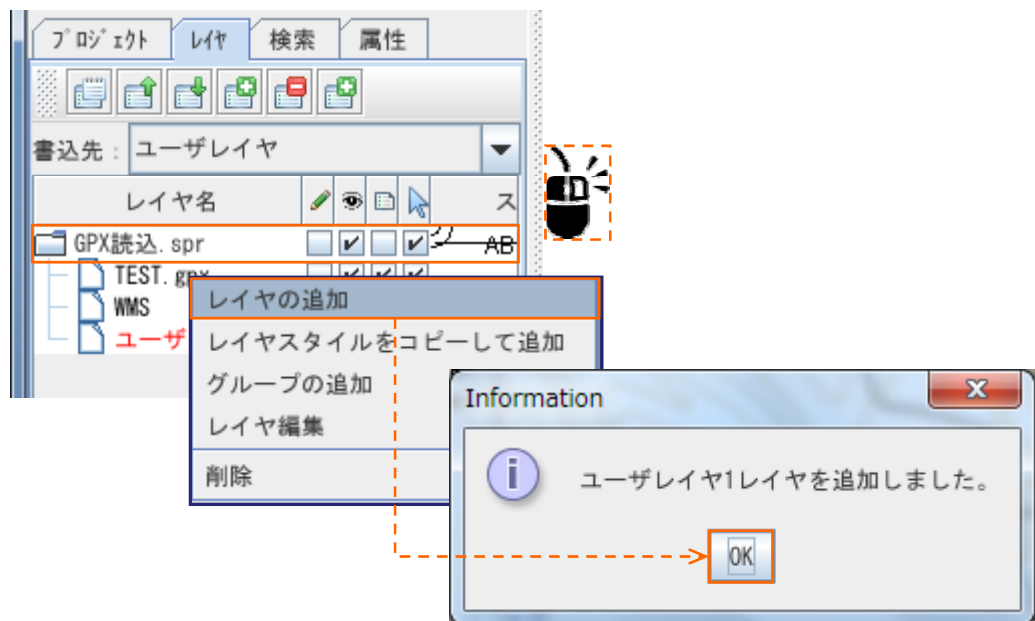
★3 ガーミン測量データ(GPX)の移動(位置修正)


GARMIN測量データ(GPXファイル)の表示位置の移動(修正)が必要な場合にご参照ください。

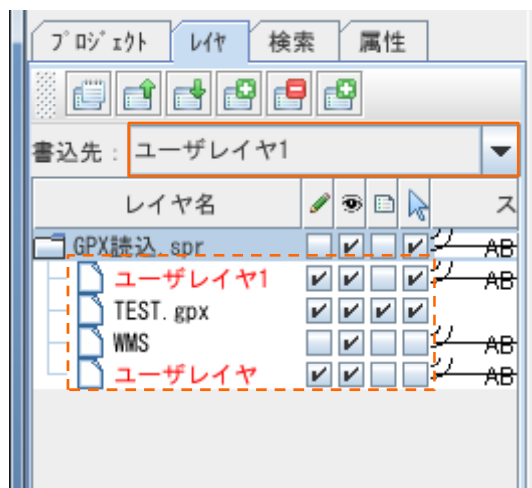
図形の位置移動はユーザレイヤ(赤文字)のみ行えるため、ユーザレイヤへコピーします。

※背景レイヤ(黒文字)は、編集結果を保存できません。

- 1 編集可能にするため読込んだGARMIN測量データ(GPXファイル)をユーザレイヤへコピーします。
レイヤの一番上のプロジェクト名を選択した状態で、マウスを右クリックし[レイヤの追加]を選択します。
[Information]ウィンドウで、[OK]をクリックして新規レイヤを作成します。

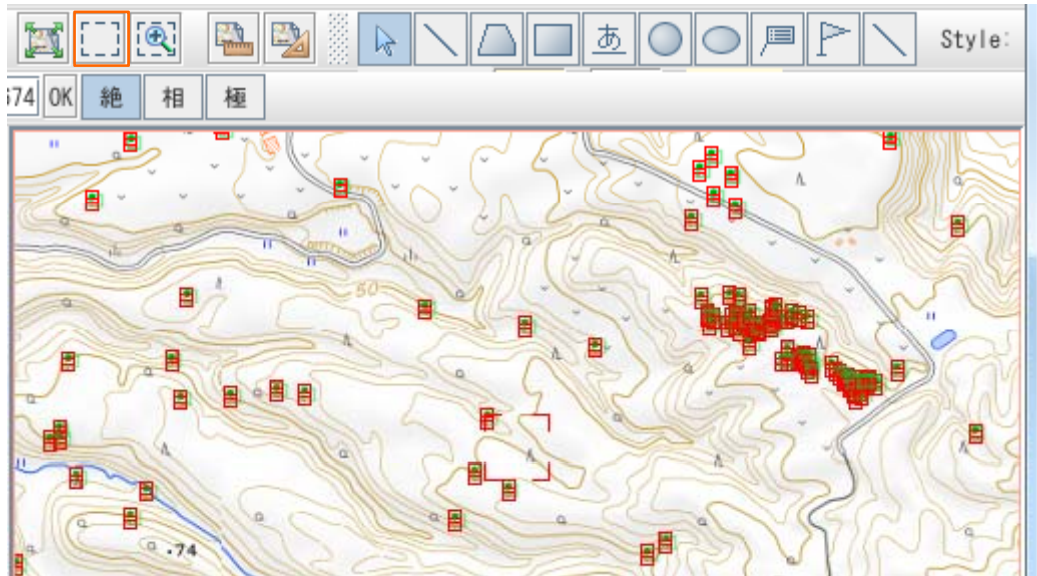


- 2 [書込先]を新しく追加したレイヤにし、コピーするレイヤ以外は[選択可能フラグ]のチェックを外します。
移動するレイヤ(例:test.gpx)とコピー先のレイヤ(例:ユーザレイヤ1)は、[編集可能]  にチェックを入れます。

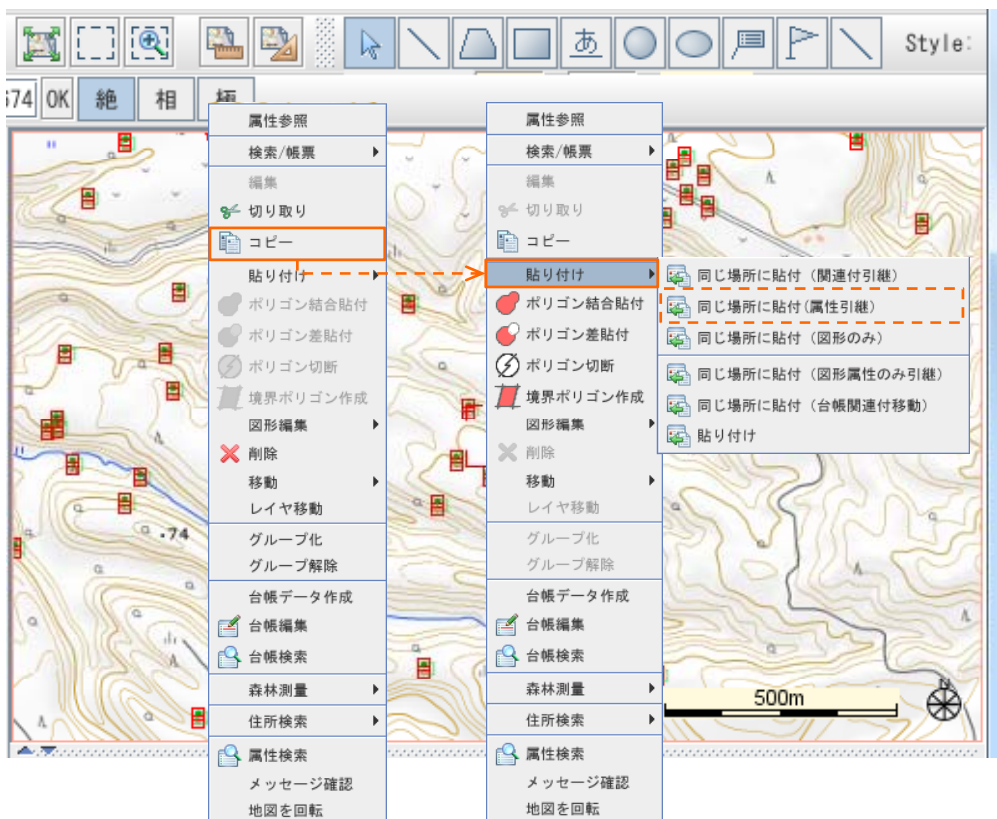


3 読込んだGARMIN測量データ(GPXファイル)の選択を行います。


[範囲指定選択]をクリックし、マウスのドラッグで囲み、コピーする図形を選択 またはマウスクリック (複数選択は[Shift]キー+マウスクリック)で図形の選択を行います。

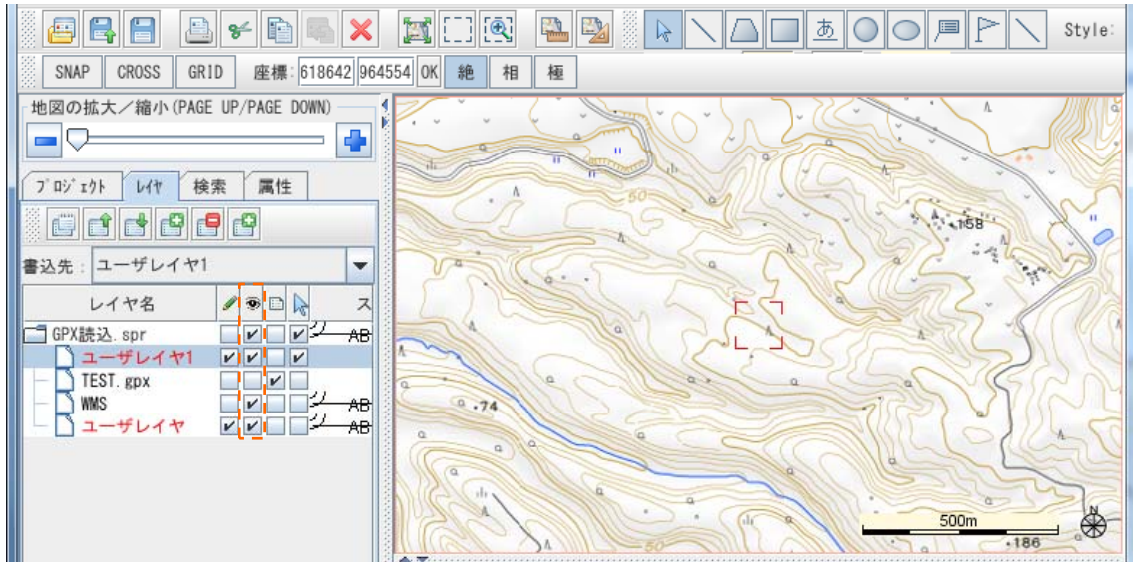


4 マウスを右クリックしてメニューバーの[コピー]を選択し、もう一度右クリックし[同じ場所へ貼り付け (属性引継)] をクリックします。




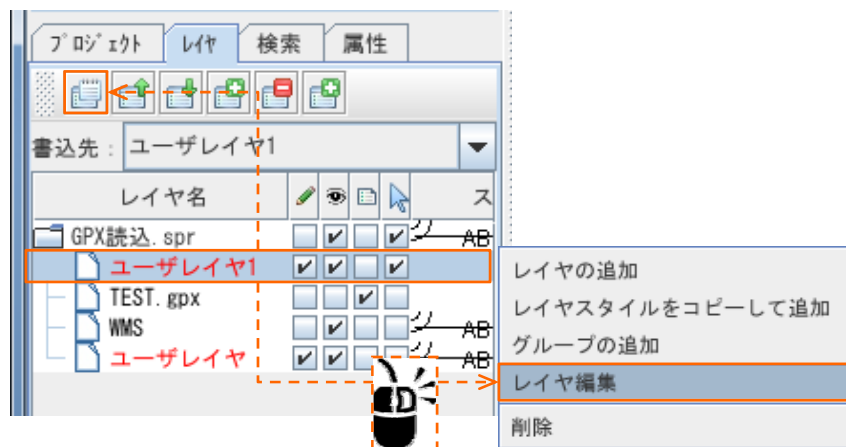
5 書込先に指定したレイヤ(例: ユーザレイヤ1)に選択したGARMIN測量データ(GPXファイル)がコピーされたことを確認します。

[表示フラグ]  のチェックを外すと、表示/非表示を替えることができます。



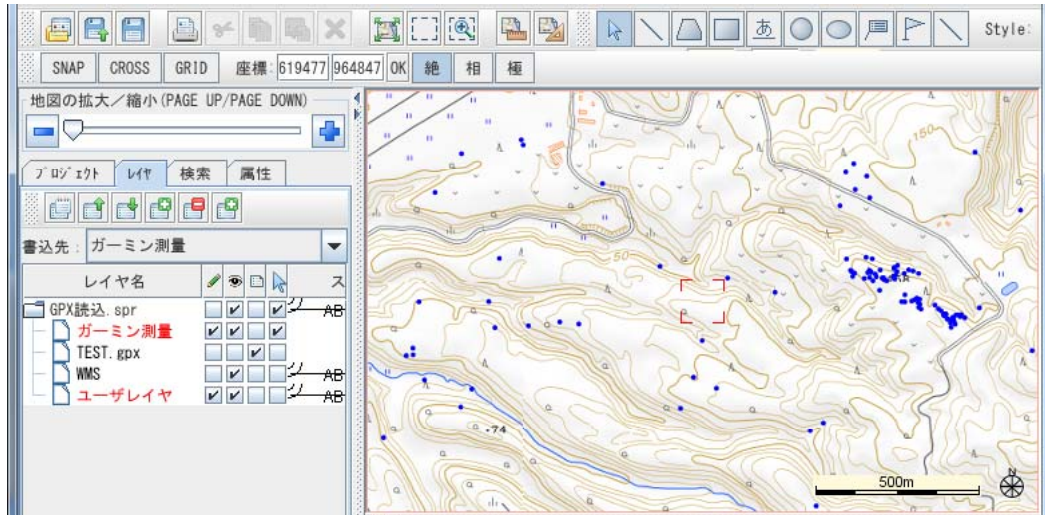
6 レイヤの詳細設定を行います。

詳細設定を行うレイヤ(例: ユーザレイヤ1)を選択し、[詳細を表示する]  をクリックし、設定します。



7 レイヤ名称やGARMIN測量データ(GPXファイル)の表示が変更されたことを確認します。

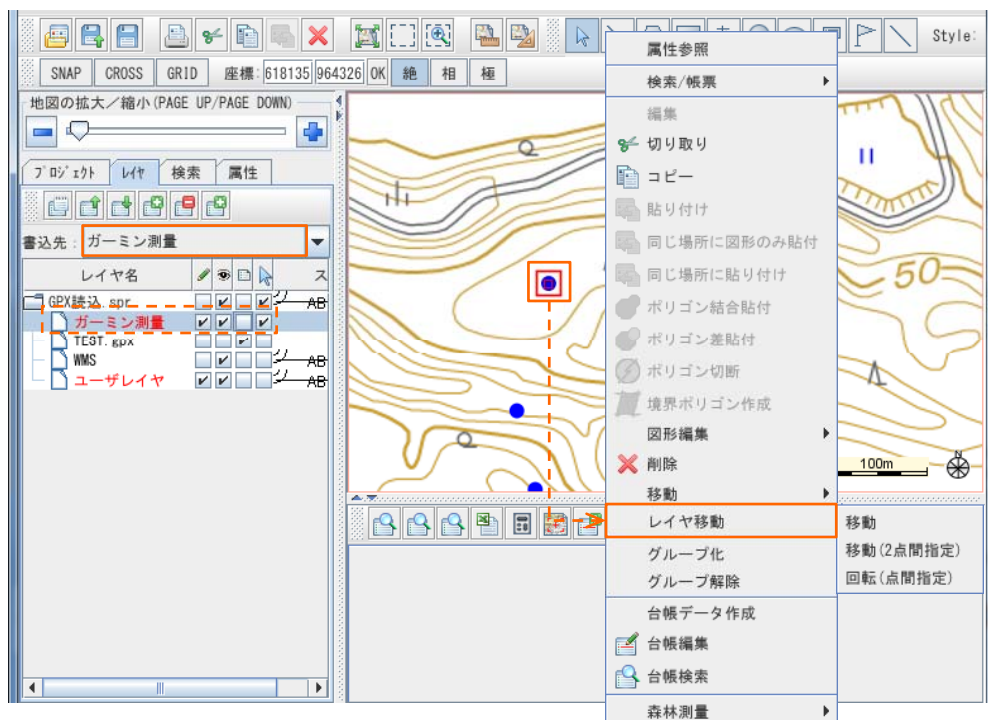
- <例> レイヤ名称:ガーミン測量/
 シンボル:塗りつぶし円/表示色:青/シンボルの大きさ:1/
 地図の縮尺にあわせて大きさを変える:✓



8 移動するGARMIN測量データ(GPXファイル)を選択します。

GARMIN測量データ(GPXファイル)をクリックし、選択状態(赤四角で囲む)にし、マウスの右クリックで[移動]を選択します。

※移動する図形があるレイヤを[書込先]にし、[編集可能] [選択可能] にチェックを入れます。

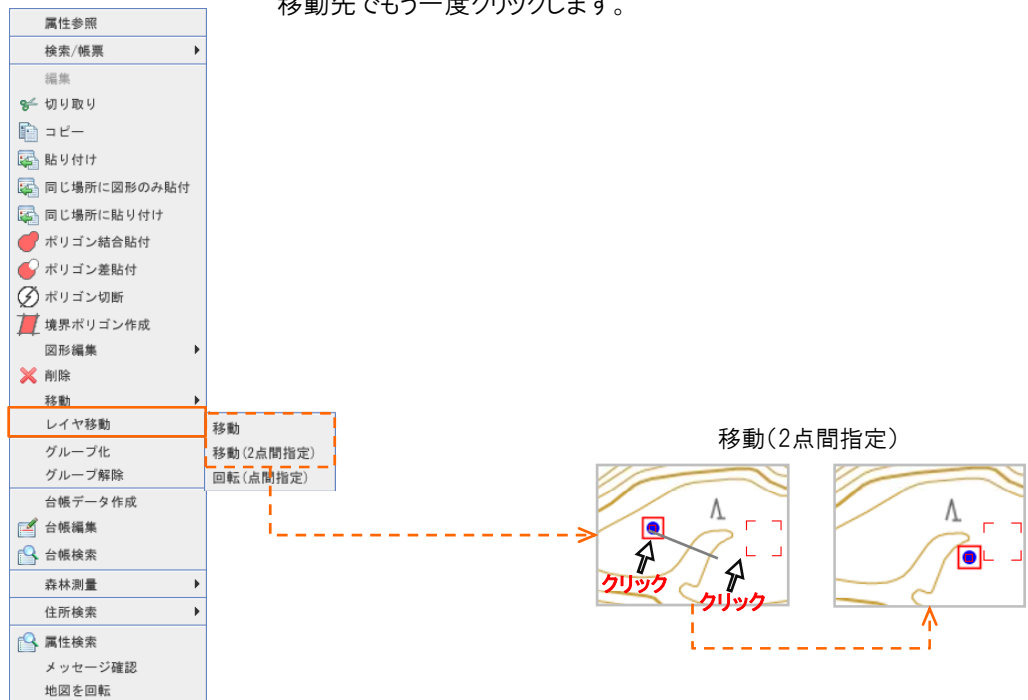


9 表示位置を移動します。

[移動]－[移動]→マウスで図形をクリックしたまま移動先まで図形をもっていき、クリックを解除します。

[移動]－[移動(2点間指定)]→マウスで図形をクリックすると黒線が表示されます。

移動先でもう一度クリックします。



10 移動したGARMIN測量データ(GPXファイル)の位置を確認をします。

